

Network Security Forum 2025 in Kansai

パネルディスカッション

「セキュリティ対策のゴールはどこ？」



サイバー攻撃の件数と被害額が急増しています。2022年の世界のサイバー攻撃による被害額は約1兆4,400億円に達し、2021年から大幅に増加しました。日本でも、2022年に観測されたサイバー攻撃関連通信数は約5,226億パケットで、2015年と比較して8.3倍に増加しています。

総務省の「令和5年版 情報通信白書」より

主な攻撃の種類と傾向

ランサムウェア攻撃: 2024年上半期の被害報告件数は114件と高水準で推移

DDoS攻撃: 2024年2月には政府機関や民間企業のウェブサイトで閲覧障害が発生

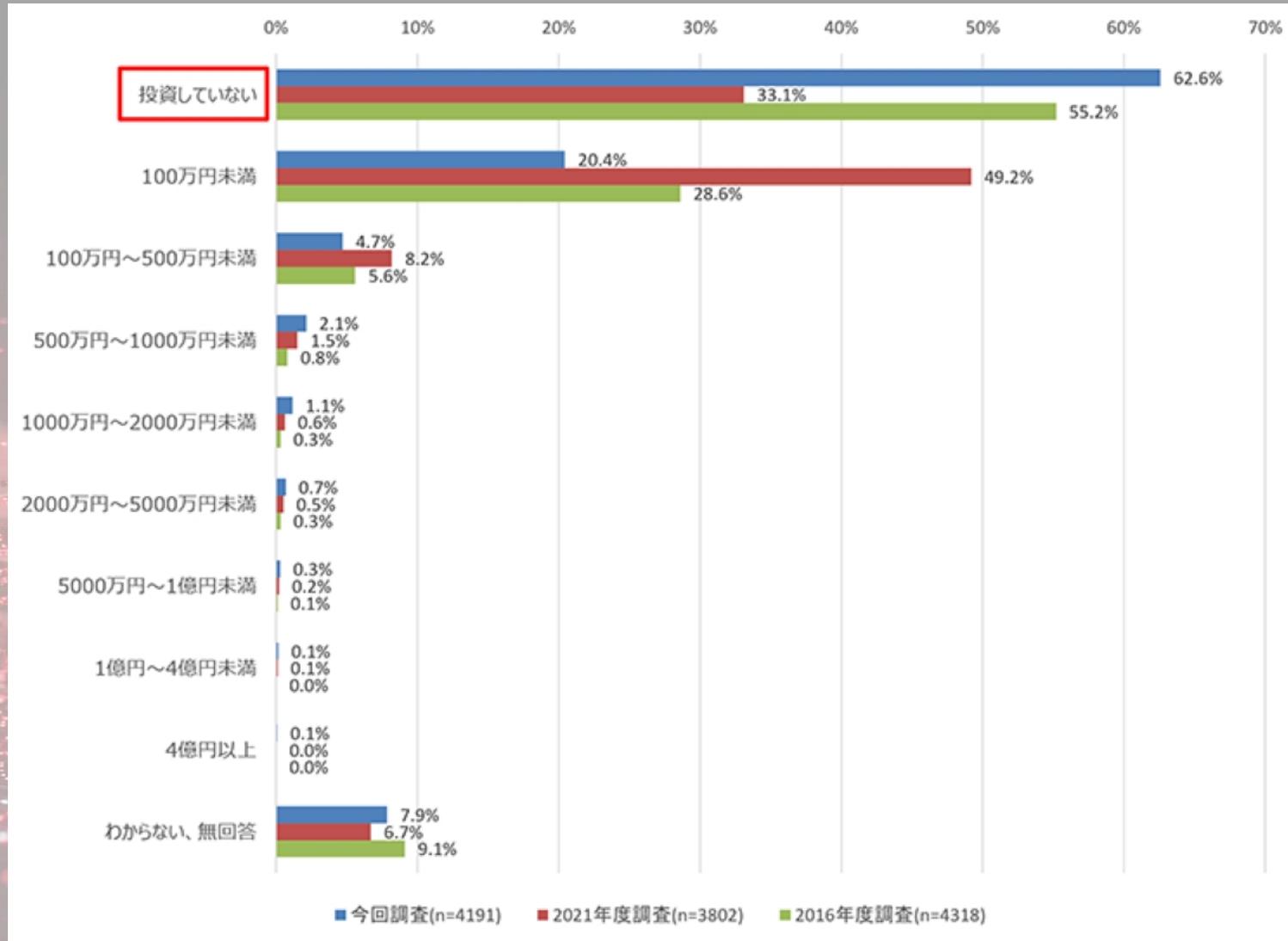
フィッシング: 2022年に世界で最も多く発生したサイバー攻撃

IoT機器を狙った攻撃: 全体の約3割を占めるまでに増加。

サプライチェーン攻撃: セキュリティレベルの低い取引先や子会社を經由して侵入

中小企業の情報セキュリティ対策投資が大きく後退！

投資をしていない理由としては、「必要性を感じていない」「費用対効果が見えない」「コストがかかりすぎる」



IPA発表 2024年度の「中小企業における情報セキュリティ対策の実態調査報告書」より

パネリストのご紹介

株式会社CYLLENGE 取締役 執行役員 営業本部長 大西 良慶 様

ケー・コンサルタント 大財 健治 様

兼松エレクトロニクス株式会社 サイバーセキュリティマネジメント
センター長 木村 哲也 様